

● オオムラサキ観察会 18日(土)10時より 5人参加

18日は、出現には少し早いのではないかと危惧していましたが、なかなか飛翔を確認することにはなりません。期待していた観察台の効果が発揮されるのではないかとワクワクでしたが、期待は持ち越し、25日が最適に当たるのではないのでしょうか。それでもコガネムシはしっかり飛んでくれていました。昨年準備した補虫網の竿が見当たらなかったのですが、倉庫を探していただいた森島様が見つけてくれて、金田さんが網注文して、25日には立派な網の活用ができる見通しが立ちました。何とか手に取って観察できると20年来の大きな成果になります。これまでは、樹液を吸っているところの確認はできていたのですが、手に取ることはできていませんでした。ご参加の皆さんと期待をしています。大勢のご参加をお待ちしています。

● 臨時理事会 20日午前11時より開催 ササユリ事件について

里山農園の草刈りを始めて10年近くが経過しました。現在の6号地と7号地から5号地への通路の確保に一度失敗して、これはとても無理だ、前進できないと諦めていましたが、フィールドがほしい、野菜の栽培をやってみたいとの声が聞かれたので、2度目の復元作業に挑戦しました。それまでは財政も弱くて、強力な草刈り機の購入ができなく家庭菜園用の小さくて弱い性能でした。それでは40年近くも放棄されて太くて絡み合ったところを切り開くには性能アップが必要でした。JAやましろ農協で高額な刈払機を相当無理をして調達しました。笹竹や藪・雑木の伐採、絡み合っている葛を切り取れる高性能で、エンジンがすぐかかる調子の良いものを買いました。やっと汗をかいても前に切り進めることができるようになりました。1号地2号地への通路(100m)の確保ができただけでした。府道からは全く見えませんでした。そのような状態で3年ほど経過し、ハンマーモア(約60万円)を手に入れることができかなり能率が上がるようになって、3年目に現在の状況に到達できました。そしてイノシシ被害でサツマイモが全滅させられ、防御柵を500mめぐらすことができ、安心して野菜の栽培が可能になりました。里山農園の完成まで10年近くかかったことになります。以前にはササユリが咲いていたとの情報があり、きっと咲いてくれると期待していました。笹竹を刈り取って1年後、待望のササユリの芽が一本出て開花してくれました。たねや球根に太陽の光をさえぎっていたものを取り除くと、見事に咲き、厳しい作業を繰り返してきた苦労がやっと実ったと大歓迎しました。これを見守っていこうと誓ったものです。ところが外部からササユリの球根が植え付けられ、芽が出てきました。つぼみも付きました。在来との交雑の心配が現実のものになる重大な事態を目前にして、事務局で対応策を重ねました。6月15日の事務局会議で提案された文章では移植について合意した覚えはないとの表明がありました。

このままでは里山の会の目的とは相いれないので、臨時理事会で検討した結果、考え方や取り組み方が目的に反した行為であり認められないとして定款11条2項によって、退会勧告を行うことになりました。里山の会は創立20年になりますが、初めての出来事で神経をすり減らしています。大変なことに直面しています。

● 里山農園と自然保護について 2015年11月17日 事務局会議での提案を再掲載する

「里山農園における自然復元について」 基本的な考え方(里山農園とその周囲の環境について) 普賢寺地域は京田辺市都市計画によって、〇〇地と位置付けられ都市開発の荒ら波から守られてきた。地域住民はこの計画の推進に積極的に協力を行っている。その結果、普賢寺地域は大変優れた自然環境の地域として今日存在できている。地域住民のご理解を大切に自然環境を維持保持することは、地域環境の素晴らしさを誰よりも良く知っている我々は積極的に協力すべき団体であろう。里山の会は約20年間にわたって植物調査と昆虫調査を行ってきた。また農地の放棄地の復元にも取り組み、米作中心の地域農業の中で、野菜の生産にチャレンジしている。

放棄地の整理の中でササユリなどが復活し、厳しい復元作業の効果があり大きな喜びを得ている。周辺部分の調査からササユリの適地らしい状況も判明した。他に絶滅種とされている植物も数多く

見つかっている。今年は雑草の整理の効果としてササユリの開花に合わせ、公開の観察会を実施した。遠路はるばる訪ねてくる人もあり、自然を大切にする仲間の輪を大きくするにはいい取組みと思われる。しかし最も注意しなければならない盗掘対策も忘れてはならない。

30年近く放置された場所に手を加えることでササユリが開花し、次の年には2本が、そして3年目には、2本同時に開花するなど開花本数が増えてきた。今年は二本目に5輪が咲いた。しかし最初に開花したものは姿を消した。消滅したと思われる。

最近、ササユリの種を購入したので栽培してはどうかという意見があり、有識者の意見を聞こうとしている最中に植え付け準備作業が行われ、ササユリ生育地の現状環境が一変させられました。

この事態にあたって、基本的な方針について検討する。

里山農園の基本的な方針

自然の復元を図るところとして手入れ（雑草の取り除き）を行う。手入れの結果復元してくるものはその生育を保障する。しかし希少植物を人工的に栽培増殖するものではない。動植物ともその生育生息する環境条件を整えるにと止める。種を持込場合は特別に検討会を開催する。（特別な理由がない場合を除いて持込や栽培はしない）。

但し、普賢寺地域の種は、保存の必要性のあるものはこの限りではない。

一部栽培可能な場所は農家用地として活用する 里山本来の位置づけである

人工的な栽培についての考え方（動物・植物）

自然保護について

希少種 放置すれば絶滅すると予想されるもの 同地域のものを移植し保存する

一般種 希少種でなくとも放置すれば絶滅すると予想されるもの 同地域のものは移植できる

● 26日実施の親子で遊ぼう学ぼう魚とり スタッフを募集 現在10人が応募

現在参加申込者は10人程度です。会場は当初の予定ではなく、草内運動公園渡し浜親水公園を予定しています。普賢寺川の河口ですので、参加者各位は場所を間違えないようにご注意ください。雨天との予想ですが、小雨決行。現地で増水状況を見て判断します。

● 25日（土）オオムラサキ観察会 成虫を確認する 撮影に成功すれば10年ぶり

いよいよオオムラサキの飛翔確認のできる最も適した時期になりました。しかし天候の心配もあって出会えるでしょうか。少雨決行です。十分な対応準備してお越しくください。雨が止めば飛んでくれると信じています。粘り強く観察いたしましょう。

● カスミサンショウウオの隠れ家づくり クヌギやコナラ木の運びこみ 1時間の作業

先日の観察ではおそらく成体になって陸に上がっているのかもしれないと思われます。その場合枯れ枝などの下など安全なところに潜んでいるようです。彼らの安全な隠れ家を作るために、クヌギを置くことにしています。25日にも確認調査して成体に会えるよう仕掛けをしてみます。水曜日の午後または木曜日の午後1時に実施します。打田の炭焼き釜場にご参集ください

● 7月8月の活動予定 ホームページで案内しています。

山など里山農園でのオオムラサキの観察会や里山での夜間の生き物調査を企画しています。また木津川では、親子で遊ぼう学ぼう魚とりを計画しています。夏の屋外での観察会などでは暑さ対策がまず大切で、十分な水分補給の準備をしてください、帽子はもちろん必要です。熱中症予防に気を使ってください。子どもだけの行動は慎み、保護者同伴でお願いします。

● 里山農園の朝収穫ボランティアさん募集

午前7時里山事務所集合 8時まで トマト キュウリ ナスビ マンガンジ等の収穫のお手伝いをまっています。6月25日～9月10日（月・水・金） 2名ずつで収穫 100円コーナーに陳列します。週一回でもいいです。お願いします 連絡先 0774-64-4183 まで（Faxがいい）

● 7月2日＝今年最終の＝オオムラサキ観察会 昨年産卵に出会いました。卵採取ができるかもと期待しています。偶然が重なりますと思ってもよらない場面であることがあります。去年は、午後4時ごろに二匹オオムラサキがみんなの前で産卵を開始してくれました。なかなか出会えない場面でした。お越しくください。

追記 本会顧問としてご指導頂きました水山高幸先生が平成25年11月17日逝去されました。御冥福をお祈りいたします。